

3) 公園別利用者数

(1) 公園別の利用者数

休日利用

平成 26 年度調査で利用者数の多い公園

イベントが開催されていた合流点遊び場を除くと、10 位までが規模の大きい「区民公園」、「地域公園」、「広場公園」である。また、それ以外では、新設された「目黒天空庭園」、「オーパス夢ひろば」や、全面改修が行われた「目黒銀座児童遊園」が利用者の多い公園となっている。

利用者数の多い公園 前回調査との比較

前回調査で、利用者の多かった「伊勢脇公園」、「駒場野公園」、「目黒川船入場」、「田道広場公園」、「駒場公園」、「自由が丘公園」などが、今回調査では利用者数が減少した。

今回調査時に「田道広場公園」は運動利用、「目黒川船入場」はイベントの利用が無かったことが要因と考えられる。

児童公園である「伊勢脇公園」、「自由が丘公園」では、一定数の利用者数は見られていることから調査日時や時間帯の影響で利用者数が増減することは考えられる。

表2-24 H26 休日利用者数 上位施設

順位	公園名称	公園種別	面積(m ²)	利用者数(人)	人/100m ²
1	合流点遊び場	遊び場等	954	461	48.3
2	碑文谷公園 - 1(池)	区民公園	17,818	454	2.5
3	めぐろ区民キャンパス公園・広場	広場公園	5,100	388	7.6
4	清水池公園	地域公園	5,798	349	6.0
5	目黒区民センター公園	地域公園	10,000	274	2.7
6	碑文谷公園-2(運動)	区民公園	25,716	256	1.0
7	中目黒公園	地域公園	22,074	253	1.1
8	菅刈公園	地域公園	20,049	246	1.2
9	西郷山公園	地域公園	10,550	231	2.2
10	中根公園	地域公園	8,271	210	2.5
11	目黒天空庭園	都市緑地	7,096	188	2.6
12	油面公園	広場公園	4,513	182	4.0
13	田向公園	広場公園	2,773	153	5.5
14	目黒銀座児童遊園	児童遊園	1,362	145	10.6
15	不動公園	広場公園	3,332	145	4.4
16	東山公園 - 1	地域公園	6,189	132	2.1
17	オーパス夢ひろば	ふれあい広場	2,985	132	4.4
18	すずめのお宿緑地公園	都市緑地	7,494	127	1.7
19	東根公園	広場公園	2,866	125	4.4
20	東山公園 - 2	地域公園	15,230	112	0.7
21	衾町公園	地域公園	6,694	104	1.6

表2-25 H16 休日公園利用者数 - 上位施設

順位	公園名称	公園種別	面積(m ²)	利用者数(人)	人/100m ²
1	碑文谷公園-池部分	区民公園	17,818	1,018	5.71
2	清水池公園	地域公園	5,798	395	6.81
3	碑文谷公園-運動公園部分	区民公園	25,716	288	1.12
4	めぐろ区民キャンパス公園	広場公園	5,100	268	5.25
5	中根公園	地域公園	8,130	250	3.07
6	油面公園	広場公園	4,513	169	3.74
7	伊勢脇公園	児童公園	2,123	156	7.35
8	駒場野公園	地域公園	28,584	150	0.52
9	西郷山公園	地域公園	10,550	145	1.37
10	目黒川船入場	ふれあい広場	2,716	140	5.15
11	中目黒公園	地域公園	22,074	137	0.62
12	田道広場公園	広場公園	3,304	110	3.33
13	目黒区民センター公園	地域公園	10,000	100	1.00
14	衾町公園	地域公園	6,695	99	1.48
15	駒場公園	区民公園	40,396	91	0.23
16	不動公園	広場公園	3,333	89	2.67
17	東山公園	地域公園	6,189	76	1.23
18	自由が丘公園	児童公園	991	75	7.57
19	菅刈公園	地域公園	20,049	70	0.35
20	田向公園	広場公園	2,774	60	2.16
21	東根公園	広場公園	2,867	56	1.95

利用者数の少ない公園

利用者の少ない公園は、小規模な公園が多い。このうち、遊具や休憩施設が整備されているにもかかわらず、前回及び今回調査で利用者のいなかった箇所は、「茶屋坂街かど公園」、「下五児童遊園」、「五本木二丁目街かど公園」、「芦毛塚街かど公園」、「子の神ふれあい広場」の5施設である。

「下五児童遊園」の例では、古いタイプの遊具が多く、人通りの少ない住宅地にあることや、近接して不動公園や林試の森公園があり、利用者を選択されにくい施設になっていることが要因と考えられる。

また、「五本木二丁目街かど公園」、「子の神ふれあい広場」の例では、いずれも人通りの少ない住宅地にあり3方向を住宅に囲まれている防犯面でのマイナス要因を持った立地特性が、利用者を選択されにくい施設となっていることが考えられる。

表2-26 H26 休日利用者数の少ない施設

公園名称	公園種別	面積(m ²)	利用者数(人)
駒場三丁目もちの木公園	都市緑地	293	0
氷川台児童遊園	児童遊園	326	0
東山中児童遊園	児童遊園	413	0
茶屋坂街かど公園	街かど公園	105	0
目黒不動防災ひろば	遊び場等	443	0
上目黒四丁目防災ひろば	遊び場等	449	0
下五児童遊園	児童遊園	361	0
羅漢寺川ふれあい広場	ふれあい広場	208	0
ポケットオアシス清水	遊び場等	103	0
芦毛塚街かど公園	街かど公園	230	0
五本木二丁目街かど公園	街かど公園	426	0
中央町一丁目児童遊園	児童遊園	618	0
本町みなみ街かど公園	街かど公園	257	0
本町北公園	街かど公園	204	0
三谷児童遊園	児童遊園	600	0
碑文谷一丁目遊び場	遊び場等	175	0
洗足ひだまり公園	街かど公園	223	0
原町児童遊園	児童遊園	440	0
洗足二丁目児童遊園	児童遊園	503	0
子の神ふれあい広場	ふれあい広場	168	0
境橋街かど公園	街かど公園	88	0

図2-27 H16休日公園利用者数の少ない施設

公園名称	公園種別	面積(m ²)	利用者数(人)
菅刈街かど公園	街かど公園	200	0
小川児童遊園	児童遊園	152	0
上一児童遊園	児童遊園	129	0
烏森児童遊園	児童遊園	300	0
別所坂児童遊園	児童遊園	854	0
茶屋坂街かど公園	街かど公園	105	0
不動前児童遊園	児童遊園	189	0
下五児童遊園	児童遊園	361	0
芦毛塚街かど公園	街かど公園	231	0
五本木二丁目街かど公園	街かど公園	427	0
上目黒住区センター児童遊園	児童遊園	501	0
五本木東児童遊園	児童遊園	319	0
中央町西児童遊園	児童遊園	232	0
都営碑文谷母子住宅遊び場	広場・遊び場	272	0
子の神ふれあい広場	ふれあい広場	169	0
桜森児童遊園	児童遊園	321	0

平日利用

平成 26 年度調査の利用者数の多い公園

休日同様に、利用者数の多い公園は、規模の大きな「区民公園」、「地域公園」、「広場公園」が多くなっているが、「目黒銀座児童遊園」、「なべころ坂緑地公園」、「伊勢脇公園」等、小規模な公園でも利用者の多い箇所が見られる。新設公園としては、「東山公園拡張部」、「駒場野公園拡張部」、「目黒天空庭園」で利用者が多くなっている。

利用者数の多い公園 前回調査との比較

前回調査と比較して、利用者が減少している公園は、「西郷山公園」「目黒川船入場」「東山公園(既存部)」が挙げられる。

「西郷山公園」は、休日利用では増加が見られていることから、調査日時や時間帯の影響を受けていることが考えられる。

「目黒川船入場」は休日の項でも示したように団体利用やイベントの有無により左右されると考えられる。

「東山公園」は、既存、拡張部を合わせた全域での利用者数は増加したが、拡張部が整備されたことにより、利用者が拡張部と分散し、既存部が減少したと要因になったと考えられる。

表2-28 H26 平日利用者数 上位施設

順位	公園名称	公園種別	面積(m ²)	利用者数(人)	人/100m ²
1	碑文谷公園 - 1 (池)	区民公園	17,818	370	2.1
2	めぐろ区民キャンパス公園・広場	広場公園	5,100	323	6.3
3	碑文谷公園-2(運動)	区民公園	25,716	302	1.2
4	清水池公園	地域公園	5,798	290	5.0
5	油面公園	広場公園	4,513	275	6.1
6	東山公園 - 2	地域公園	15,230	267	1.8
7	中根公園	地域公園	8,271	264	3.2
8	中目黒公園	地域公園	22,074	178	0.8
9	目黒銀座児童遊園	児童遊園	1,362	166	12.2
10	目黒区民センター公園	地域公園	10,000	141	1.4
11	目黒天空庭園	都市緑地	7,096	128	1.8
12	なべころ坂緑地公園	都市緑地	1,039	106	10.2
13	伊勢脇公園	児童公園	2,123	104	4.9
14	中央緑地公園	都市緑地	3,803	104	2.7
15	不動公園	広場公園	3,332	103	3.1
16	田向公園	広場公園	2,773	103	3.7
17	駒場野公園 - 2 (拡張部分)	区民公園	10,440	91	0.9
18	駒場公園	区民公園	40,396	87	0.2
19	菅刈公園	地域公園	20,049	83	0.4
20	駒場野公園 - 1	区民公園	28,584	76	0.3

表2-29 H16 平日利用者数 - 上位施設

順位	公園名称	公園種別	面積(m ²)	利用者数(人)	人/100m ²
1	碑文谷公園-池部分	区民公園	17,818	844	4.74
2	めぐろ区民キャンパス公園	広場公園	5,100	322	6.31
3	清水池公園	地域公園	5,798	260	4.48
4	油面公園	広場公園	4,513	221	4.90
5	中根公園	地域公園	8,129	191	2.35
6	西郷山公園	地域公園	10,550	180	1.71
7	菅刈公園	地域公園	20,049	179	0.89
8	目黒川船入場	ふれあい広場	2,716	166	6.11
9	目黒区民センター公園	地域公園	10,000	165	1.65
10	駒場野公園	地域公園	28,584	154	0.54
11	中目黒公園	地域公園	22,074	152	0.69
12	田向公園	広場公園	2,773	140	5.05
13	東山公園	地域公園	6,189	133	2.15
14	碑文谷公園-運動公園部分	区民公園	25,716	133	0.52
15	なべころ坂緑地公園	都市緑地	1,039	126	12.13
16	駒場公園	区民公園	40,396	123	0.30
17	衾町公園	地域公園	6,694	83	1.24
18	中央緑地公園	都市緑地	3,803	79	2.08
19	宮前公園	児童公園	4,117	76	1.85
20	伊勢脇公園	児童公園	2,123	71	3.34
21	東根公園	広場公園	2,866	64	2.23

利用者数の少ない公園

前回・今回調査の両方で、利用者が見られなかった公園は、規模が小さく、短時間の休憩利用が主な利用内容になっていると想定される「茶屋坂街かど公園」、「羅漢寺川ふれあい広場」、「金杉原南緑地公園」、「碑文谷一丁目遊び場」がある。

また、「氷川台児童遊園」、「不動前児童遊園」、「柿の木坂西児童遊園」、「碑文谷一丁目遊び場」などは、「接する道路の人通りが少ない」、「園内の見通しが確保されていない」などがマイナス要因になっていると考えられる。

表2-30 H26 平日利用者数の少ない施設

公園種別	公園名称	面積(m ²)	利用者数(人)
駒場三丁目もちの木公園	都市緑地	293.48	0
駒場児童遊園	児童遊園	640.74	0
氷川台児童遊園	児童遊園	325.7	0
東山街かど公園	街かど公園	319.51	0
上一防災ひろば	遊び場等	96.92	0
茶屋坂街かど公園	街かど公園	104.69	0
不動前児童遊園	児童遊園	189.2	0
目黒不動防災ひろば	遊び場等	443.13	0
羅漢寺川ふれあい広場	ふれあい広場	207.96	0
金杉原南緑地公園	都市緑地	241.72	0
碑文谷一丁目遊び場	遊び場等	175.16	0
原町タンポポ公園	街かど公園	221.23	0
八雲三丁目緑地	都市緑地	220.29	0
柿の木坂西児童遊園	児童遊園	448.45	0
中根ねむの木公園	街かど公園	382.93	0

表2-31 H16 平日利用者数 - 利用者が少ない施設

公園名称	公園種別	面積(m ²)	利用者数(人)
烏森児童遊園	児童遊園	300	1
不動ふれあい広場	ふれあい広場	50	1
中央町西児童遊園	児童遊園	231	1
碑文谷五丁目児童遊園	児童遊園	692	1
曾根児童遊園	児童遊園	346	1
やくも街かど公園	街かど公園	619	1
桜森児童遊園	児童遊園	320	1
小川児童遊園	児童遊園	152	0
茶屋坂街かど公園	街かど公園	105	0
芦毛塚街かど公園	街かど公園	230	0
五本木東児童遊園	児童遊園	318	0
羅漢寺川ふれあい広場	ふれあい広場	208	0
ポケットオアシス清水	ふれあい広場	103	0
碑文谷一丁目遊び場	広場・遊び場	175	0
金杉原南緑地公園	都市緑地	242	0
子の神ふれあい広場	ふれあい広場	168	0

単位面積当たり利用者数

休日

単位面積当たり利用者数は、今回の調査で上位に挙げた施設は、イベントが開催されていた「合流点遊び場」や、「西小山ニコニコ広場」などがある。

一方、一定以上の規模(1,000㎡以上)があり、恒常的な利用で利用密度が高い公園として「目黒銀座児童遊園」、「東山児童遊園」、「田向公園」などが挙げられる。

また、規模の大きい公園(5,000㎡以上)でも、公共施設が隣接する「区民キャンパス公園」や、特徴的な利用(釣り)のある「清水池公園」なども利用密度が高い公園となっている。

平日

平日で利用密度の高い施設は、「園外保育」及び幼稚園帰りの集団利用が主な利用形態となっている。

また、「区民キャンパス公園」、「清水池公園」については、休日と同様に、特徴的な利用により、利用密度は高くなっている。

表3-32 H26 単位面積・利用者数(休日) 上位施設

順位	公園名称	公園種別	面積(㎡)	利用者数(人)	人/100㎡
1	合流点遊び場	遊び場等	954	461	48.3
2	西小山ニコニコ広場	ふれあい広場	66	15	22.9
3	碑文谷八幡児童遊び場	遊び場等	196	22	11.2
4	目黒銀座児童遊園	児童遊園	1,362	145	10.6
5	上四児童遊園	児童遊園	387	37	9.6
6	洗足駅前ふれあい広場	ふれあい広場	287	24	8.4
7	東山児童遊園	児童遊園	958	74	7.7
8	めぐろ区民キャンパス公園・広場	広場公園	5,100	388	7.6
9	下二児童遊園	児童遊園	320	23	7.2
10	緑が丘西児童遊園	児童遊園	331	22	6.7
11	清水池公園	地域公園	5,798	349	6.0
12	唐ヶ崎児童遊園	児童遊園	804	48	6.0
13	熊野神社児童遊び場	遊び場等	250	14	5.6
14	田向公園	広場公園	2,773	153	5.5
15	自由が丘公園	児童公園	990	53	5.4
16	日向児童遊園	児童遊園	300	16	5.3
17	東山街かど公園	街かど公園	320	16	5.0
18	鷹番児童遊園	児童遊園	315	15	4.8
19	八雲児童遊園	児童遊園	264	12	4.5

表2-33 H26 単位面積・利用者数(平日) 上位施設

順位	公園種別	公園名称	面積(㎡)	利用者数(人)	人/100㎡
1	洗足ひだまり公園	街かど公園	223	34	15.3
2	目黒銀座児童遊園	児童遊園	1,362	166	12.2
3	第二曽根児童遊園	児童遊園	290	33	11.4
4	下二児童遊園	児童遊園	320	33	10.3
5	なべこる坂緑地公園	都市緑地	1,039	106	10.2
6	目黒東児童遊園	児童遊園	621	57	9.2
7	目黒川田道街かど公園	街かど公園	149	13	8.7
8	洗足駅前ふれあい広場	ふれあい広場	287	23	8.0
9	西小山ニコニコ広場	ふれあい広場	66	5	7.6
10	西小山公園	街かど公園	590	43	7.3
11	八雲児童遊園	児童遊園	264	18	6.8
12	めぐろ区民キャンパス公園・広場	広場公園	5,100	323	6.3
13	桜森児童遊園	児童遊園	320	20	6.2
14	油面公園	広場公園	4,513	275	6.1
15	鷹番児童遊園	児童遊園	315	18	5.7
16	唐ヶ崎児童遊園	児童遊園	804	44	5.5
17	三谷児童遊園	児童遊園	600	32	5.3
18	東山中児童遊園	児童遊園	413	22	5.3
19	清水池公園	地域公園	5,798	290	5.0

4) 緑道利用状況

(調査時間帯 朝 7:30~8:00、昼 13:00~13:30、夕方 18:00~18:30)

目黒川緑道

目黒川緑道は、玉川通りから北側に伸び、世田谷区の北沢川緑道、烏山川緑道に繋がる施設として整備された緑道である。

当該緑道は、図 3-34 のように、南側から車道 自転車道 歩道 流れ・緑地という構造になっており、自転車専用道路も緑道に含まれ、自転車と歩行者の混在は見られない。途中には、ベンチが点在し、休憩所ともなっている。



目黒川緑道 三宿方面

休日の利用状況

歩行者は、「夕方」の利用者が最も多く、「午後」は池尻大橋駅方向に向かうウォーキングの団体利用があるなど、下流側の目黒川が開渠となっている緑道部分を連続して利用している団体も見られ、生活道路とともに、地域の観光ルートとしても利用されている。

自転車は、「昼」の池尻大橋駅方向への利用が最も多くなっている。

歩行者と自転車が完全に分離されているため、緑道内を歩いて自転車を引く者も見られず、自転車と歩行者の混在は生じていないといえる。

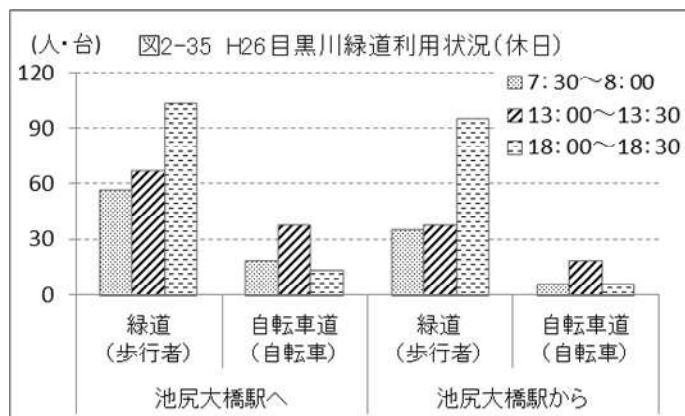
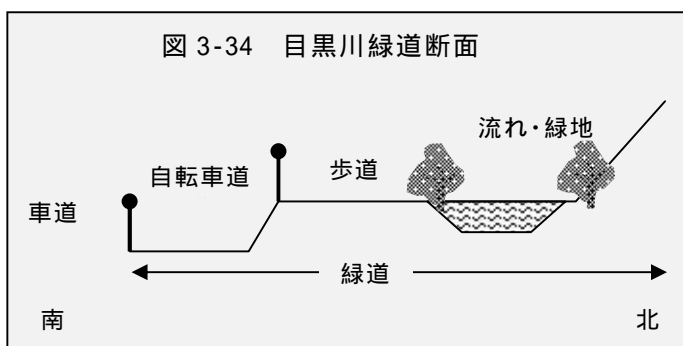
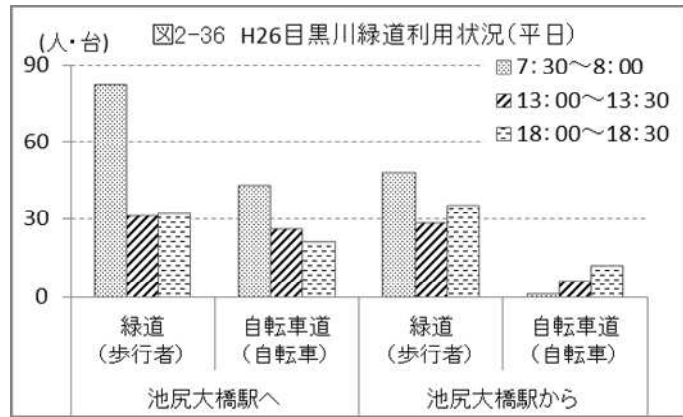


表2-34 H26 目黒川緑道 利用状況(休日)

方向	休日	朝	昼	夕方	合計
		7:30~8:00	13:00~13:30	18:00~18:30	
池尻大橋駅へ	緑道(歩行者)	57	67	103	227
	自転車道(自転車)	19	38	14	71
池尻大橋駅から	緑道(歩行者)	35	38	95	168
	自転車道(自転車)	6	19	6	31
	休憩利用	3	6	0	9
合計		120	168	218	506

平日の利用状況

平日の歩行者利用は、「朝」は、池尻大橋駅方向への歩行者が最も多く、自転車もこの時間帯が最も多かった。

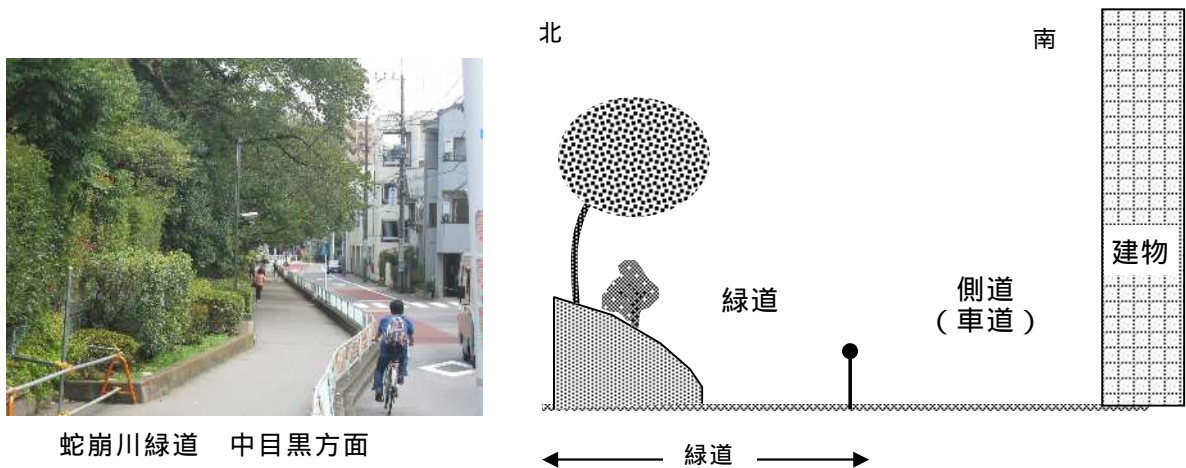


方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30~8:00	13:00~13:30	18:00~18:30	
池尻大橋駅へ	緑道 (歩行者)	82	31	32	145
	自転車道 (自転車)	43	26	21	90
池尻大橋駅から	緑道 (歩行者)	48	28	35	111
	自転車道 (自転車)	1	6	12	19
	休憩利用	0	7	3	10
合計		174	98	103	375

蛇崩川緑道

蛇崩川緑道は、中目黒駅への通勤・通学ルートになっており、朝夕の通行は多くなっている。緑道は、道路をガードレールで仕切った形態の歩行部分と斜面を利用した緑地部分が平行して並ぶ形態となっている。

道路部分には歩道がなく、車の通行量も比較的多いため、緑道は歩行者にとって安全で、歩きやすい環境となっている。



蛇崩川緑道 中目黒方面

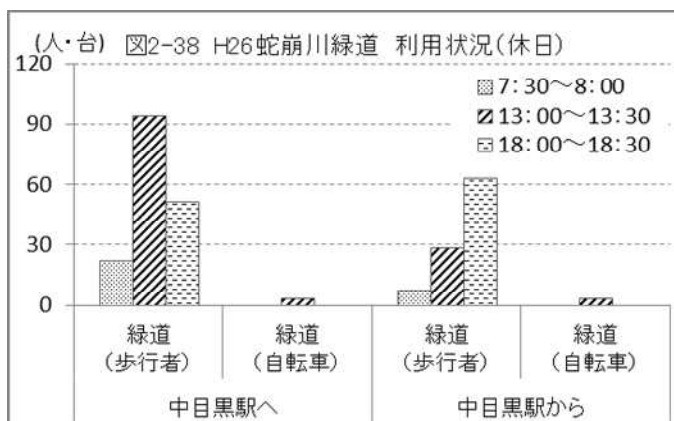
休日の利用状況

休日の利用は、中目黒駅方向への「昼」の利用が最も多い。

自転車の利用は、朝の時間帯の利用は無く、昼に数台あるのみとなっている。

前回調査では、歩行者利用は「夕方」が最も多くなっていたが、今回は「昼」となっている。自転車は、前回調査も「昼」と「夕方」

に見られるが数量は減少している。今回は、合計数で「朝」、「夕方」で減少している。



方向	休日	朝	昼	夕方	合計
		7:30~8:00	13:00~13:30	18:00~18:30	
中目黒駅へ	緑道(歩行者)	22	94	51	167
	緑道(自転車)	0	3	1	4
中目黒駅から	緑道(歩行者)	7	28	63	98
	緑道(自転車)	0	3	1	4
	休憩利用	0	3	1	4
合計		29	131	117	277

表 2-37 H16 蛇崩川緑道の利用状況単位：人・台)

調査時間	朝	昼	夕方
	(7:30~8:00)	(12:30~13:00)	(18:00~18:30)
緑道(歩行者)	75	110	138
緑道(自転車)	4	17	14
合計	79	127	152

平日の利用状況

平日は、中目黒駅方向に向かう「朝」の利用が最も多くなっている。これは、通勤・通学時の利用と考えられる。

最も利用されている時間は、「朝」であり、前回調査と変化はない。また、利用者の総数は、各時間帯とも大きな変化はない。

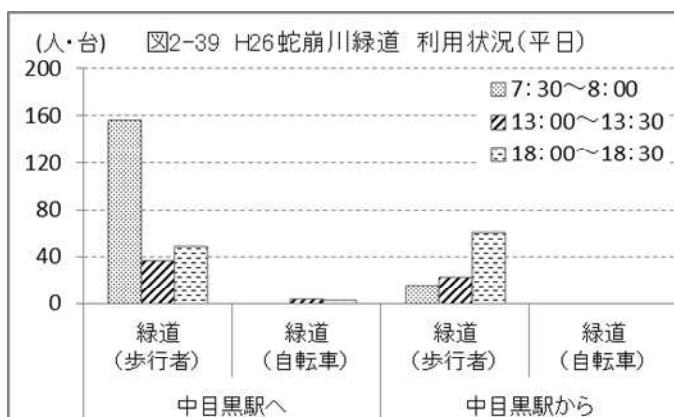


表2-38 H26 蛇崩川緑道 利用状況(平日)					
方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30~8:00	13:00~13:30	18:00~18:30	
中目黒駅へ	緑道 (歩行者)	156	36	48	240
	緑道 (自転車)	0	3	2	5
中目黒駅から	緑道 (歩行者)	15	22	60	97
	緑道 (自転車)	1	1	1	3
	休憩利用	1	2	0	3
合計		173	64	111	348

表 2-39 H16 蛇崩川緑道の利用状況(単位:人・台)

調査時間	朝	昼	夕方
	(7:30~8:00)	(12:30~13:00)	(18:00~18:30)
緑道(歩行者)	171	74	117
緑道(自転車)	2	13	16
合計	173	87	133

立会川緑道(向原おもだか児童遊園前)

立会川緑道は、西小山駅近くから碑文谷八幡等を結ぶルート上で調査を行った。この緑道は両側に側道があり、緑道部分は側道より地盤が高くなっている。緑道内には高木が植栽されているため、ジグザグに歩く形態の歩道となっている。



立会川緑道 西小山方面

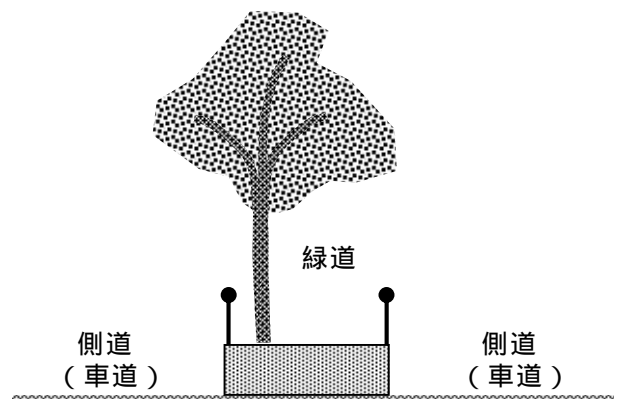


図 2-40 立会川緑道断面

休日の利用状況

休日では、歩行者の利用する緑道と側道の割合は、いずれも緑道の割合が高く、「朝」63%、「昼」73%、「夕方」58%となっている。

前回調査と比較すると、前回の緑道利用率が、いずれも50%以下で、「昼」「夕方」は30%以下となっている。

前回調査時と緑道施設の大きな変化が無い場合、側道を通る車の通行量などの、通行状況の変化の影響などが考えられる。

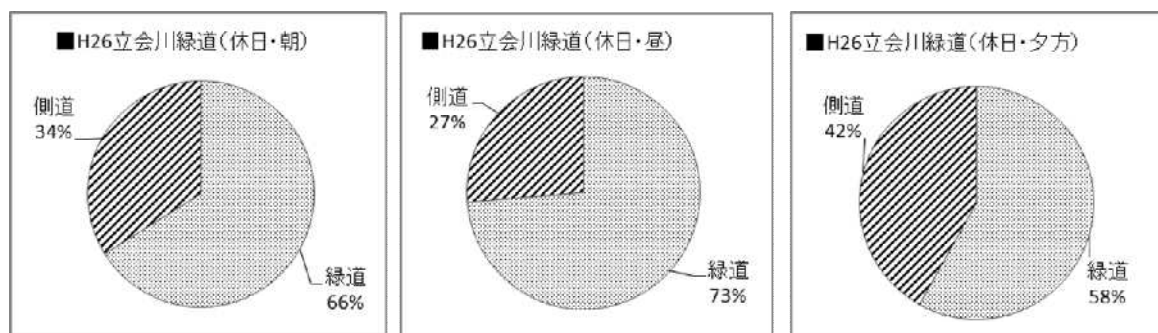


図 2-41 H26 立会川緑道利用状況 (休日)



図 2-42 H16 立会川緑道利用状況 (休日)

表2-39 H26 立会川緑道(向原おもだか児童遊園前) 利用状況(休日)

方向	休日	朝	昼	夕方	合計
		7:30~8:00	13:00~13:30	18:00~18:30	
西小山駅へ	緑道(歩行者)	28	8	13	49
	側道(歩行者)	16	3	8	27
西小山駅から	緑道(歩行者)	13	6	12	31
	側道(歩行者)	5	2	10	17
	休憩利用	0	0	0	0
合計		62	19	43	124

表 3-40 立会川緑道の利用状況(休日)(単位:人)

調査時間		朝	昼	夕方)
		(7:30~8:00)	(12:30~13:00)	(18:00~18:30)
調査対象	緑道	27	35	29
	側道	37	85	80

平日の利用状況

平日でも、緑道の利用率は全て時間で 50%を超えているが、時間帯が遅くなるにつれ利用率が上昇している。

一方、休日と比較すると、休日よりいずれも利用率は低くなっている。前回調査との比較では、休日と同様に今回の緑道利用率の方が高くなっている。

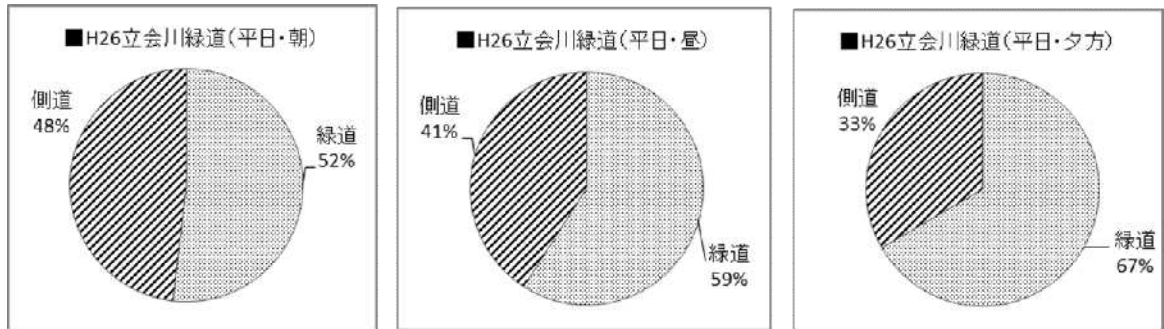


図 2-43 H 26 立会川緑道の利用状況

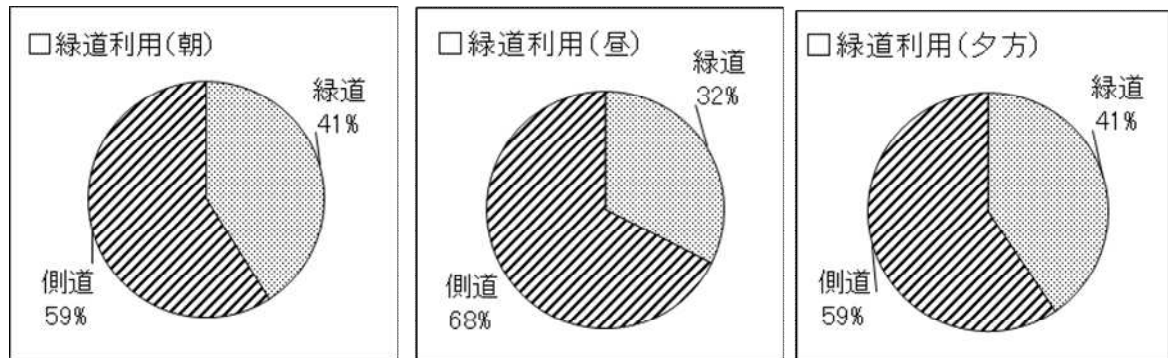


図 2-44 H 16 立会川緑道の利用状況 (平日)

表2-41 H26 立会川緑道(向原おもだか児童遊園前) 利用状況(平日)

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30~8:00	13:00~13:30	18:00~18:30	
西小山駅へ	緑道(歩行者)	13	8	28	49
	側道(歩行者)	7	7	15	29
西小山駅から	緑道(歩行者)	1	5	14	20
	側道(歩行者)	6	2	6	14
	休憩利用	0	0	0	0
合計		27	22	63	112

表 2-42 立会川緑道の利用状況 (平日)(単位:人)

調査時間		朝	昼	夕方)
		(7:30~8:00)	(12:30~13:00)	(18:00~18:30)
調査対象	緑道	71	23	62
	側道	102	48	91

呑川緑道（目黒通り北側）

都立大学駅から目黒通りを渡った部分の呑川本流緑道の通行状況を調査対象地点とした。この緑道は、立会川緑道と同様の形態であるが、側道の交通量は少なく、通る場合でも幅員が狭いため、徐行状態で通過している。また、緑道は側道より地盤面が高く、植栽があり通路が曲線的な形状であるためか、通勤・通学時にはあまり利用されていない。主に、緑道を利用しているのは、ウォーキング、犬の散歩及び緑道内の駐輪場利用者となっている。



呑川緑道 目黒通り北側

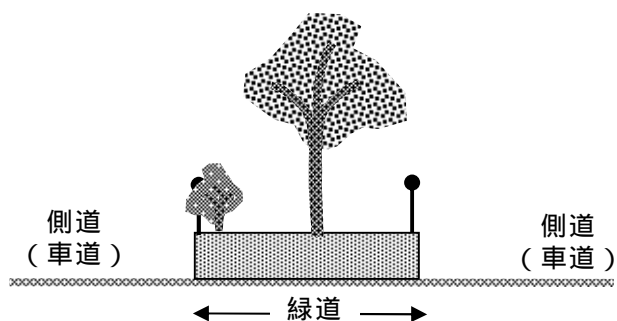


図 2-45 呑川緑道断面

休日の利用状況

緑道の利用率は、いずれの時間帯も 20% 前後となっている。前回調査と比較すると、各時間帯とも、上昇している。

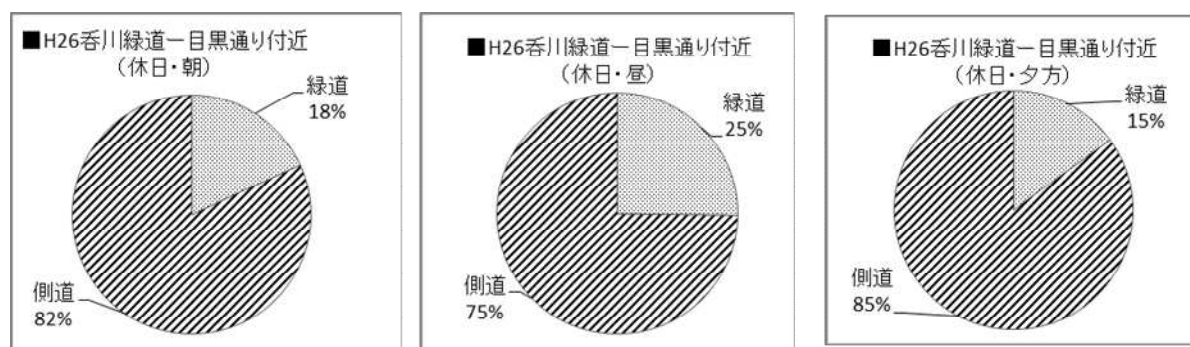


図 2-46 H26 呑川緑道の利用状況（休日）

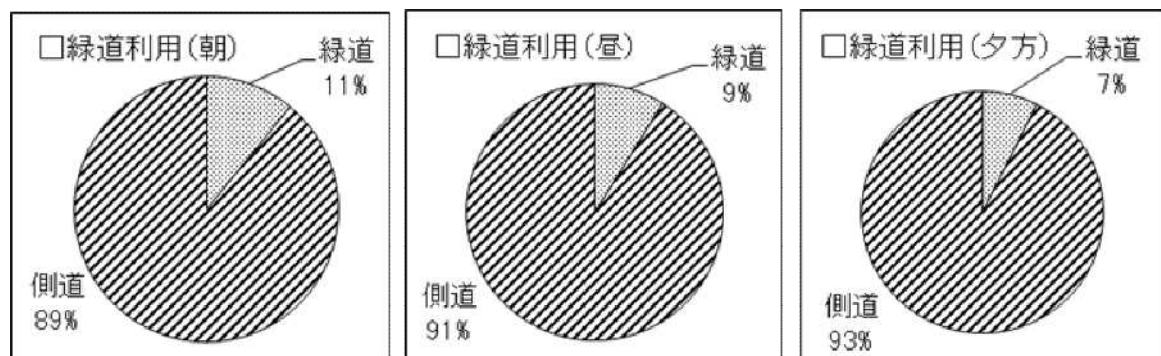


図 2-47 H16 呑川緑道の利用状況（休日）

方向	休日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
都立大前駅 へ	緑道 (歩行者)	4	13	12	29
	側道 (歩行者)	31	65	63	159
都立大前駅 から	緑道 (歩行者)	8	18	10	36
	側道 (歩行者)	23	27	62	112
	休憩利用	1	0	0	1
合計		67	123	147	337

表 2-44 H16 呑川緑道 (目黒通り付近)(休日)(単位:人)

調査時間		朝	昼	夕方
		(7:30～8:00)	(12:30～13:00)	(18:00～18:30)
調査対象	緑道	23	26	20
	側道	189	268	250

平日の利用状況

時間帯によって、利用率に大きな差が出ているが、学生や工事関係者などの団体利用があったことは要因である。前回との比較では、「朝」では低くなっているが、「昼」「夕方」は、高くなっている。

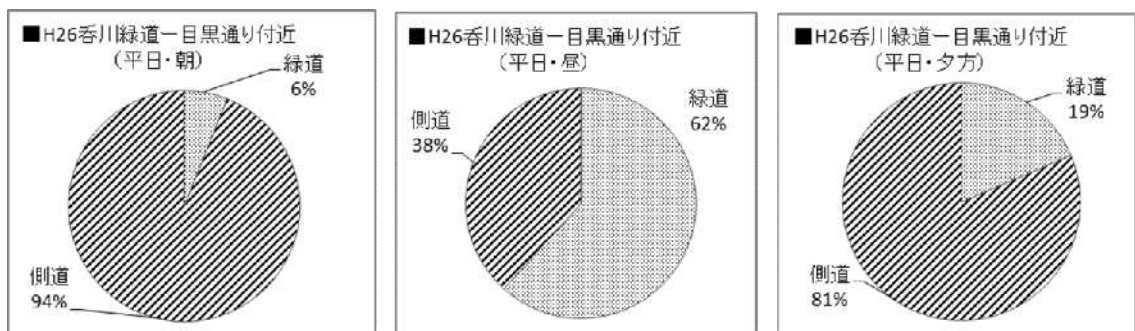


図 2-48 H26 呑川緑道の利用状況 (平日)

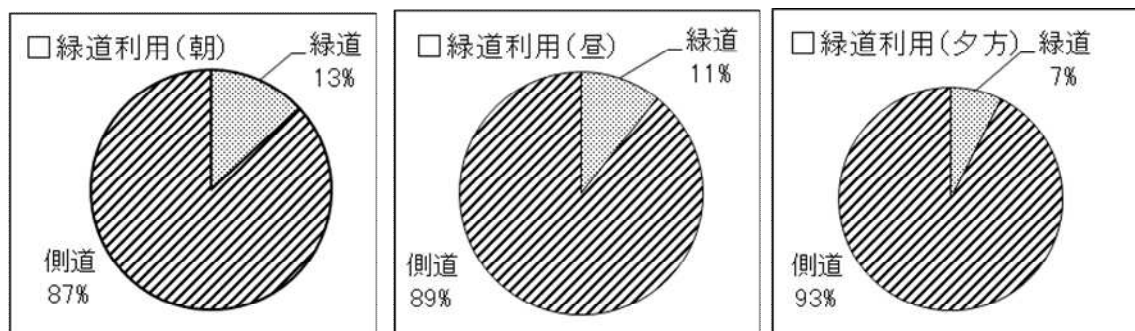


図 2-49 H16 呑川緑道の利用状況 (平日)

表2-45 H26 呑川緑道(目黒通り北側) 利用状況(平日)

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
都立大前駅 へ	緑道 (歩行者)	22	28	5	55
	側道 (歩行者)	172	17	49	238
都立大前駅 から	緑道 (歩行者)	0	17	16	33
	側道 (歩行者)	169	11	43	223
	休憩利用	0	0	0	0
合計		363	73	113	549

表 2-46 H16 呑川緑道 (目黒通り付近)(平日)(単位:人)

調査時間		朝	昼	夕方
		(7:30～8:00)	(12:30～13:00)	(18:00～18:30)
調査対象	緑道	44	19	24
	側道	291	158	298

呑川緑道(十一中前)

呑川沿いの住宅地と、緑が丘駅を繋ぐ役割を担っている。調査対象地点付近は、歩道の幅員が広く、車道からの段差が無いため、中根小学校前後の北側に続く部分とは異なり、利用しやすい緑道となっている。また、緑道内に自転車走行レーンが設置されており、歩行者と自転車の動線が分離されているため、ジョギングやサイクリング利用にも適した構造となっている。



呑川緑道 十一中東側

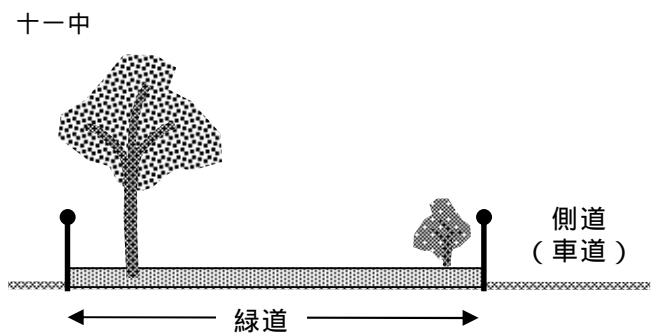


図 2-50 呑川緑道(十一中付近)断面

休日の利用状況

緑道の利用率は、「朝」と「昼」は、約 90%であり、低い「夕方」でも、75%となっており、他の緑道と比較しても、利用率が最も高くなっている。

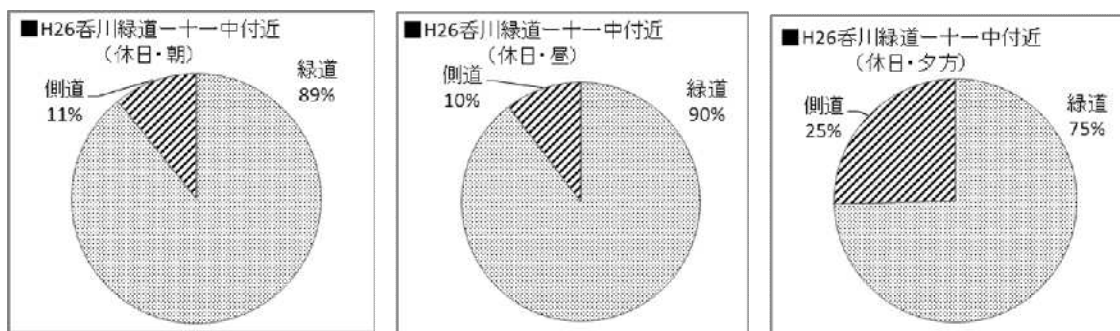


図 2-51 呑川緑道(十一中付近)利用状況(休日)

方向	休日	朝	昼	夕方	合計
		7:30 ~ 8:00	13:00 ~ 13:30	18:00 ~ 18:30	
緑が丘駅へ	緑道 (歩行者)	20	37	21	78
	側道 (歩行者)	2	4	9	15
緑が丘駅から	緑道 (歩行者)	13	15	23	51
	側道 (歩行者)	2	2	6	10
	休憩利用	0	6	0	6
合計		37	64	59	160

平日の利用状況

平日は、「昼」、「夕方」は、80%以上の高い利用率であるが、「朝」は、67%になっていた。これは、他の緑道でも同様の傾向がみられる。

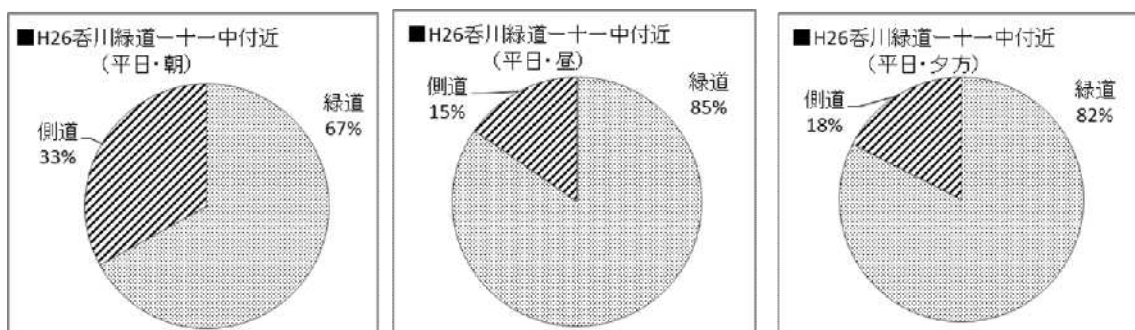


図 2-52 呑川緑道(十一中付近)利用状況(平日)

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
緑が丘駅へ	緑道 (歩行者)	15	20	45	80
	側道 (歩行者)	3	4	8	15
緑が丘駅から	緑道 (歩行者)	48	11	35	94
	側道 (歩行者)	28	2	9	39
	休憩利用	0	0	0	0
合計		94	37	97	228

* 前回と調査地点が異なるため、前回調査との比較はない。

九品仏川緑道

九品仏川緑道は、調査対象の緑道の中で最も利用率が低い緑道である。これは、形状が呑川緑道の目黒通り付近に類似しており、緑道内が狭いこと、側道の交通量が少ないことが大きな要因と考えられる。



九品仏川緑道 自由が丘駅方

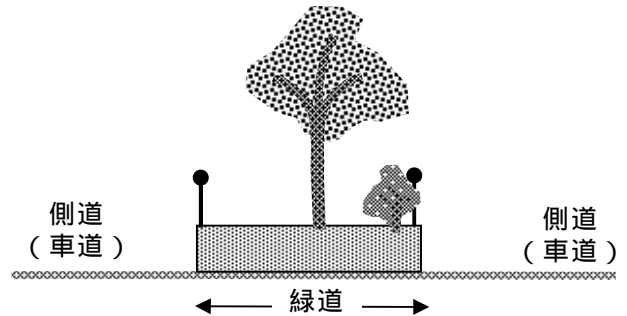


図 2-53 九品仏川緑道利用状況断面

休日の利用状況

緑道の利用率は、12～15%となっているが、前回との比較では「朝」が低く、「昼」「夕方」が高くなっている。

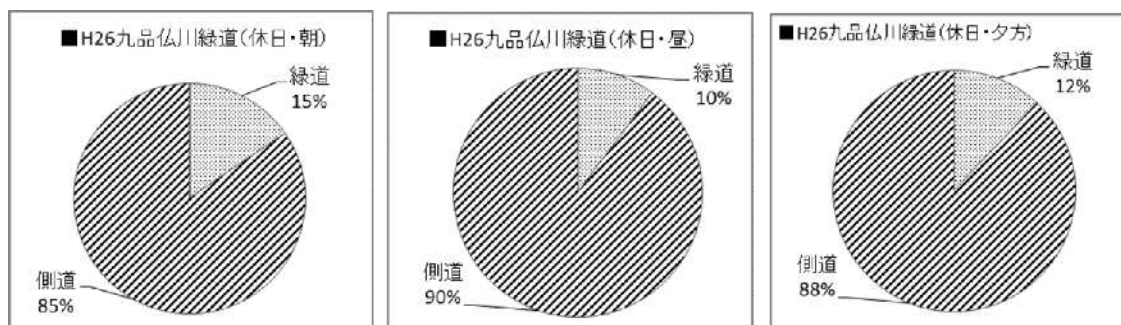


図 2-54 H26 九品仏川緑道利用状況 (休日)

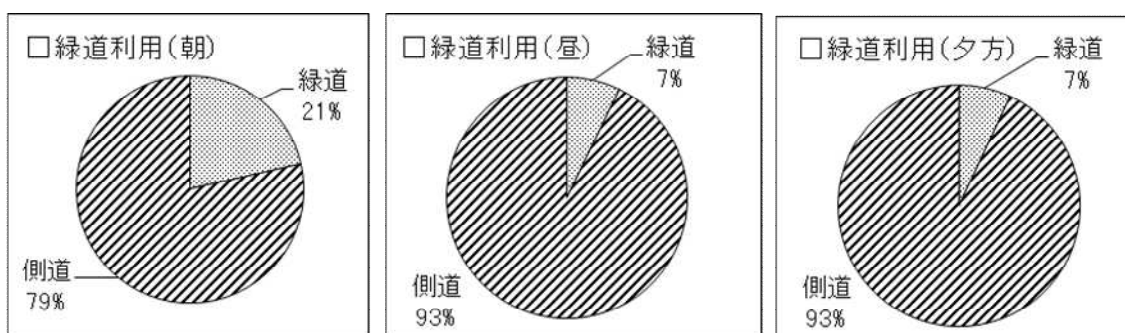


図 2-55 H16 九品仏川緑道利用状況 (休日)

方向	休日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
自由が丘駅 へ	緑道 (歩行者)	3	9	8	20
	側道 (歩行者)	13	65	44	122
自由が丘駅 から	緑道 (歩行者)	3	4	5	12
	側道 (歩行者)	20	50	52	122
	休憩利用	0	2	4	6
合計		39	130	113	282

表 2-50 H16 九品仏川緑道 (緑が丘駅付近) の利用状況 (休日) (単位: 人)

調査時間		朝	昼	夕方
		(7:30～8:00)	(12:30～13:00)	(18:00～18:30)
調査対象	緑道	3	5	12
	側道	11	65	161

平日の利用状況

平日は、いずれの時間帯も 10% 以下の利用率となっている。前回の利用率よりも高くなっているが、他の緑道と比較すると低い利用率である。

この要因は、側道の交通量が少ないことで、安全に歩けることが大きな要因と考えられる。

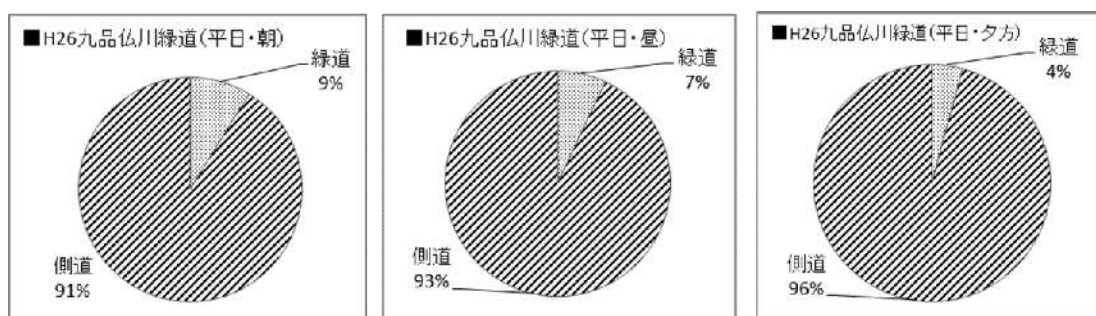


図 2-56 H26 九品仏川緑道利用状況 (平日)

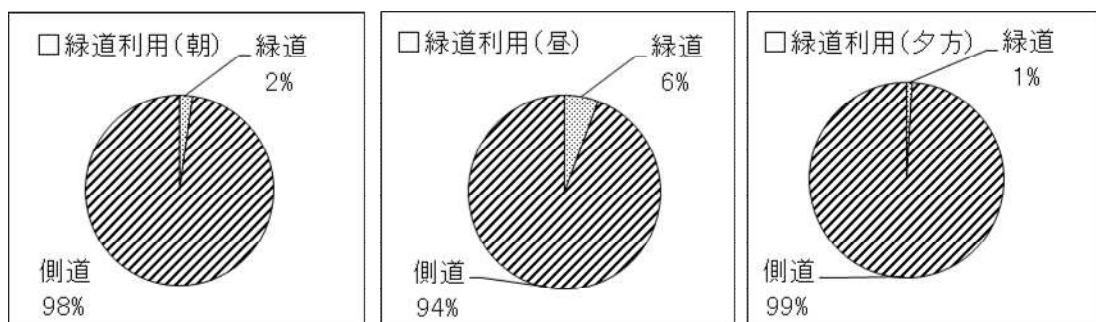


図 2-57 H16 九品仏川緑道利用状況 (平日)

表2-51 H26九品仏川緑道 利用状況(平日)

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30 ~ 8:00	13:00 ~ 13:30	18:00 ~ 18:30	
自由が丘駅 へ	緑道 (歩行者)	2	3	0	5
	側道 (歩行者)	18	18	13	49
自由が丘駅 から	緑道 (歩行者)	1	0	1	2
	側道 (歩行者)	13	22	10	45
	休憩利用	1	0	0	1
合計		35	43	24	102

表 2-52 H16 九品仏川緑道 (緑が丘駅付近) の利用状況 (休日) (単位: 人)

調査時間		朝	昼	夕方
		(7:30 ~ 8:00)	(12:30 ~ 13:00)	(18:00 ~ 18:30)
調査対象	緑道	2	6	1
	側道	88	100	109